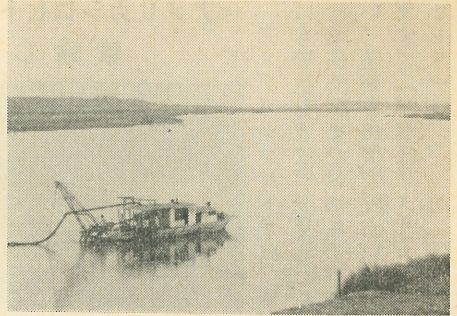


広報

とね

茨城県北相馬郡利根町役場
昭和42年7月10日発行 第39号



かしま

20世紀日本の科学の粋を集めて、いま港の工事が急ピッチに進められています。将来鹿島は東日本の玄関

口、国際貿易港として10万トン級船舶の入港ができる港湾と、人口30万、年間1兆1千億円の出荷額を算する一大工業地帯となるでしょう。

さらに日立からこの鹿島を経て、京浜地帯を結ぶ高速道路や、西日本に通ずる中部日本横断道路などが放射状に整備され、国鉄鹿島線も鹿島港の整備と合わせて開業できるよう、工事が進められています。

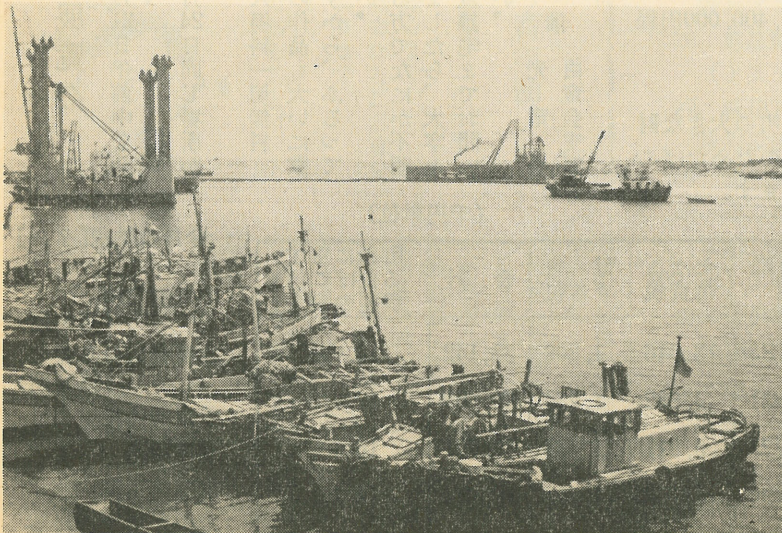
鹿島が開発されると、過密化している京浜地帯にかわって、関東各地の衛生都市郡の新しい中核として将来の発展が期待されることはいうまでもありません。

世界各国の新しい開発のひとつのテストケースとして注目を集めている鹿島……。この鹿島は新時代の先端を進む地帯となるでしょう。

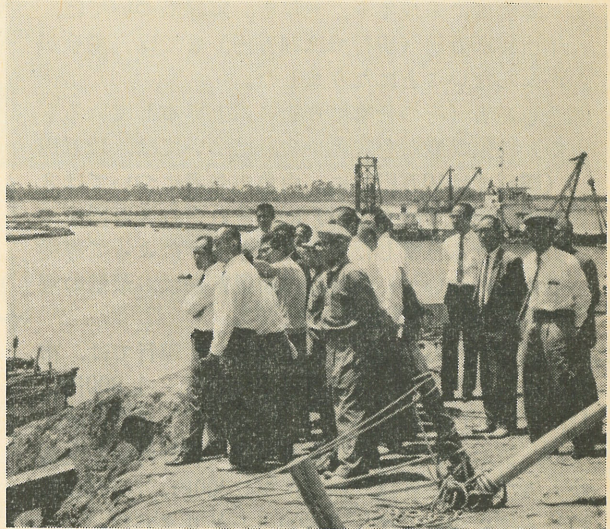
(鹿島臨海工業地帯開発組合)

写真説明 下

陸地を掘って建設中の鹿島港。臨海部には鉄鋼・石油精製・石油化学・電力重機械などの基準産業のコンビナート、隣接地区には関連工業が導入されることになっている。



議員団かしまを視察



写真説明 上

県の係り員の説明に耳を傾けながら、目下建設中の鹿島港をつぶさに視察する利根町議員団。

茨城はいま大きく伸びようとしている。別記の「かしま」のほかに、筑波地区に、研究・学園都市が誕生し、更に隣りの千葉県成田市には、新国際空港の建設が予定されているからである。

このようなとき、声を大にして積極的に、利根町自体の開発が叫ばれるのは当然のことであろう。

そこで町では、今後の開発の参考に供しようと、去る6月12日、町長及び議員団が、日夜急ピッチで建設中の鹿島港をつぶさに視察し、県の係り員の説明に耳を傾けながら、愛する郷土の開発のため、綿密なる構想を練った。

今後は町の開発に重点

利根町町村合併協議会は解消

利根町町村合併協議会は、五月二十七日と六月十七日、役場の会議室で開かれ、全員協議の結果、多種多様の意見はあったが、結局利根町としては、あくまでも慎重に検討してからにした方がよい。四町合併については、時期尚早である。という結論に達し、同協議会を解消し、全くの白紙に戻した。

このことは、すでに北相馬郡四町合併協議会に報告し、利根町の態度を明らかにした

ので、郡の合併は、利根町を除いた守谷町、取手町、藤代町の三町で行なわれることになったのでお知らせいたします。

なお、今後町としては、栄橋の早急掛け替え実現に全力を注ぐと共に、積極的に町自体の開発を進めるべきだとの結論を得ましたので、町民の皆さんの絶大なご協力をお願いいたします。開発についての具体的な案は、目下研究中です。

生活は美の中から

7月22・23日

第四回利根町美術展覧会

光電会は、展覧会を開くたびに会員も増加し、目的も着々と達成されつつあります。

搬入 7月21日午前中公会
 搬出 7月24日同じ場所か
 出品料、入場料一切無料
 会員以外の作品も大いに歓迎いたしますから、ふるってご出品下さい。

2月展の直後開かれた会議で、次回展を7月末日に開く予定になっていましたが、去る6月11日に開かれた会議で、再確認し、次のように決定しました。

期日 7月22・23日
 場所 利根町公会堂
 作品 絵画・書道・写真・その他

出品される方でないか不明の点がありましたら、大字上曾根の鈴木重雄宅までお問い合わせ下さい。

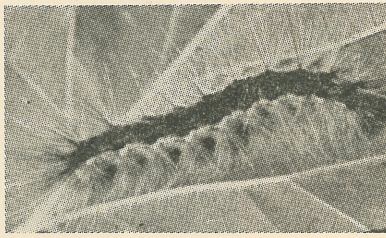
主催 光電会
 白竜会支部

(千円単位)

今月の納税【7月】

- 固定資産税 (第2期)
- 国民健康保険税 (第2期)
- 予定所得税
- 水稻掛金
- 水道使用料
- 有線放送使用料

アメリカシロヒトリを 駆除しよう !!



アメリカシロヒトリは、秋にも発生します。発見したら産業経済課までお知らせ下さい。薬剤を無償で配布いたします。【写真はアメリカシロヒトリ】

昭和42年度地方税法の一部改正のお知らせ

- 町県民税
 - 障害者、未成年者、老年者、寡婦については、年所得26万円（現行では24万円）までは、税金がかからないことになりました。
 - 専従者（その仕事に6ヶ月以上従事しているもの）控除限度額を青色申告者については、12万円（現行では10万円）に、白色申告者については8万円（現行では6万円）に、それぞれ2万円ずつ引き上げられました。この引き上げによって専従者1人について、住民税の所得割額は、最低の者で800円の減税となります。
- 法人町民税の均等割の税率（年額）現行では、市町村の人口により、標準税率 2,400円, 1,800円, 1,200円の3段階になっていましたが、今度の改正では、資本金額又は出資金額が 1,000万円をこえる法人及び相互会社は、標準税率4,000円、それ以外の法人等については、2,400円となりました。
- たばこ消費税

たばこ消費税の税率を100分の18.1(現行100分の15)に引き上げられました。この引き上げによって、町の小売店で買ったたばこ20本入1箱で10円99銭町の収入になります。なお、この引き上げによって41年の実績5,707,000円に比し、42年度は1,400,000円程度の増収が見込まれます。
- 町税調定額とたばこ消費税の割合

下記の表のとおり、たばこ消費税は、町の大きな財源となっています。よりよい町づくりのためたばこは、町内小売店で買うようご協力願います。

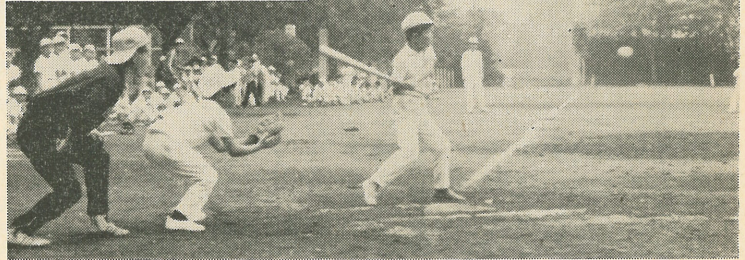
年度	税別	町民税	固定資産税	軽自動車税	たばこ消費税	電気ガス税	合計	町税に対するたばこ消費税の割合
昭和38年度		7,059	12,025	1,233	3,516	1,309	25,142	14.0%
昭和39年度		6,970	12,492	1,431	4,682	1,284	26,859	17.4%
昭和40年度		9,238	12,629	1,779	5,011	1,434	30,091	16.6%
昭和41年度		7,961	12,722	1,996	5,707	1,553	29,939	19.1%

小学児童の球技大会

スポーツをとおして町内4小学校の親睦をはかる。スポーツマンシップにのっとり、健全な精神と身体を養う。という趣旨のもとに、利根町管内4小学校の球技大会が去る6月19日、布川中で行なわれました。教育長をはじめ



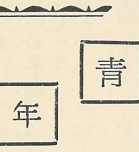
め、PTA、議員の皆さんの激励により、各小学校から選ばれた児童たちが、最後までがんばり、ソフトボール(男子)では東文間小が、ポートボール(女子)では布川小がそれぞれ優勝しました。
【写真はソフトボールとポートボールの試合】



児童・生徒の皆さんから募集

昭和42年度明るく正しい選挙 宣伝ポスター

- ① 趣旨 私たちの生活を豊かでたのしいものとするには、政治をりっぱなものにしなければなりません。そして、きれいな政治が行なわれるには、選挙が明るく正しく行なわれなければなりません。そこで、心身ともに清く正しい全国の児童、生徒の皆さんに明るく正しい選挙をおしすすめるうえに役立つポスターをかいてもらいたいです。
- ② 応募規定
 - (イ) 内容 明るく正しい選挙をおしすすめることを表わすものをかいてください。
 - (ロ) 応募資格 小学校児童・中学校・高等学校生徒(1人1点自作のものにかぎります)
 - (ハ) 締切日と提出先 9月5日(火曜日)までに利根町役場の選挙管理委員会に出してください。
 - (ニ) 色と大きさ 4色以内、大きさ55cm×40cm以内
 - (ホ) その他 作品のうら右下に県名、学校名、学年氏名(ふりがな)性別を必ず書き入れてください。
- ③ 賞 入選者には、文部大臣、自治大臣連名の賞状および副賞を贈ります。
- ④ 発表 10月中旬。
主催 自治省・文部省・都道府県選挙管理委員連合会・公明選挙連盟・明るく正しい選挙全国推進協議会・都道府県選挙管理委員会・都道府県教育委員会・区市町村選挙管理委員会・市町村教育委員会



利根町青年歌と利根町青年団 協議会章図案

町民から募集

利根町青年団協議会では、かねてからの懸案でありまし

た「利根町青年歌」と「利根町青年団協議会章(図案)」を教育委員会の協力を得て、一般から広く募集することになりました。

青年歌は、現在の利根町青年の姿をとらえた、明るく希望に満ちた歌詞を望みます。また、会章(図案)は、限りなく発展する青年会を表わ

したものを望みます。皆さまの懸念なるご応募をお待ちしております。

※応募規定

☆利根町民であること。



☆青年歌は三番までとし一題のこと。
☆会章(図案)も一人一点とし、大きさははがき大、黒一色のこと。
☆締め切りは八月三十一日。
☆作品の送り先きは、利根町役場内教育委員会とする。

広報文芸

短歌 羽中 古田 たけ
箱根山右に左にカーブして天
下の剣を眺むる谷間
関守の宿もなつかし箱根山昔
を語れ杉の並木道
澄み渡る十国峠の一眺め旅の
心はひとしおはずむ

商工会だより

商工会長に就任して

新井 太郎

就任に際しまして、一言ごあいさつ申し上げます。敗戦から立ち上がった日本も、先日の新聞紙上でみますと、国民の総生産は、フランスを抜き、アメリカ、西ドイツ、イギリスに次いで、世界第四位になる公算が大きいということです。

たたきのめされながらも、前進する日本の経済力は、世界のトップを行っておりますが、国民一人当たりの所得は世界の第二十位というまことに残念な次第です。私たちの経済生活を考えても、収入に對して実利が少なく、経営の合理化は、もはやひとりよがりの理論では、どうにもならなくなつてまいりました。

こうした経済競争の時代におくれないよう、私たち商工業者は、商工会という組織のもとに團結して衆知を集め、また経済知識、税務、経営の合理化等について、それぞれの専門家を招いて共に研究したいと思ひます。

利根町は、利根川にさえぎられた片側町で、商工業の立

場からは、まことに不利な条件にありますが、対岸の千葉県湖北から布佐にかけて団地の進出、印西町周辺に三十万都市の構想とか、この利根町も近く新栄橋の架設により、新しく脚光を浴びる日が近いと信じております。

私たちは、こうした明るい日を目ざして、利根町商工会の発展を期したいと思います。會員諸氏のご協力をお願い申し上げます。

(利根町商工会長)

共済組合だより

第十二回通常総代会開かる

去る五月三十一日、当組合の第十二回通常総代会が開催され、第一号議案より第七号議案まで慎重に審議されましたので、その結果をご報告いたします。

◇第一号議案 昭和四十一年度事業報告書、財産目録、貸借対照表、損益計算書及び剰余金処分案について

原案どおり可決されました。参考までに申し上げますと、昨年の水稲被害関係は、農家負担掛金総額は、三百三十八万八

千五百十円で、共済金(農家に支払われた金)は、一千五百五十三万四千八百四十円です。

◇第二号議案 昭和四十二年度事業計画並びに収支概算書の承認について

本年度は、重点的に陸田の引き受けを実施する事以外は原案どおり決定す。

◇第三号議案 昭和四十二年産水稲、陸稲、昭和四十三年産麦に適用する組合の定める単位当たり共済金額の

選択について
内容は、水、陸稲、麦で被害の場合一キログラム当たり何円にするかという事ですが昨年は六十円。本年は掛金率改訂により掛金率が安くなりましたので、その分だけ高い金額を選んでほしいという事で、掛金で昨年より十アール当たり十二円高くなるはありますが一キログラム当たり七十円という事で、広報及び部落懇談の節、組合員に説明する事で可決されました。

◇第四号議案 昭和四十二年度において実施する農作物無事戻し金について

原案どおり可決。

(別表一参照)

◇第五号議案 定款一部変更について

内容的には、家畜共済制度の改正で、従来は、牛、馬、乳牛等を個々に加入していたわけですが、改正により、飼っている家畜のうち、乳牛なら乳牛全部、牛なら牛全部ひとまとめにして、同時に加入する新しい方式に変更されたわけで、原案どおり可決されました。

◇第六号議案 昭和四十二年度借入金金の最高限度について

選 択 について
内容は、水、陸稲、麦で被害の場合一キログラム当たり何円にするかという事ですが昨年は六十円。本年は掛金率改訂により掛金率が安くなりましたので、その分だけ高い金額を選んでほしいという事で、掛金で昨年より十アール当たり十二円高くなるはありますが一キログラム当たり七十円という事で、広報及び部落懇談の節、組合員に説明する事で可決されました。

選 択 について

内容は、水、陸稲、麦で被害の場合一キログラム当たり何円にするかという事ですが昨年は六十円。本年は掛金率改訂により掛金率が安くなりましたので、その分だけ高い金額を選んでほしいという事で、掛金で昨年より十アール当たり十二円高くなるはありますが一キログラム当たり七十円という事で、広報及び部落懇談の節、組合員に説明する事で可決されました。

(別表一参照)

◇第四号議案 昭和四十二年度において実施する農作物無事戻し金について

原案どおり可決。

(別表二参照)

◇第五号議案 定款一部変更について

内容的には、家畜共済制度の改正で、従来は、牛、馬、乳牛等を個々に加入していたわけですが、改正により、飼っている家畜のうち、乳牛なら乳牛全部、牛なら牛全部ひとまとめにして、同時に加入する新しい方式に変更されたわけで、原案どおり可決されました。

◇第六号議案 昭和四十二年度借入金金の最高限度について

選 択 について
内容は、水、陸稲、麦で被害の場合一キログラム当たり何円にするかという事ですが昨年は六十円。本年は掛金率改訂により掛金率が安くなりましたので、その分だけ高い金額を選んでほしいという事で、掛金で昨年より十アール当たり十二円高くなるはありますが一キログラム当たり七十円という事で、広報及び部落懇談の節、組合員に説明する事で可決されました。

◇第七号議案 昭和四十二年度余裕金の預入先きについて

常陽銀行布川支店、利根町農業協同組合に決定。

以上簡単ですが、総代会の模様をお知らせいたします。

(利根町農業共済組合)

別表一 (10アール当たり)

年度	単 位 共 計	当 金	無 支 共 計	の 場 合 共 計	農 家 負 担 金
昭和41年	60円		18,600円		296円
昭和42年	70円		21,700円		308円

別表二

地区名	対象戸数	金 額
川間	42戸	13,445円
文 川	61戸	12,445円
文 間	108戸	61,028円
文 東	89戸	58,486円
計	300戸	145,404円

町 勢 (昭和42.7.1現在)

世帯数 1,766

人口 8,743 { 男 4,282
女 4,461 }

発行所 利根町役場
町長 加納久頭
編集 産業経済課広報係
電話 [利根] (029768) 9番69番
印刷 倉沢印刷株式会社